

平成29年度 川崎区地域自立支援協議会について

平成29年5月26日(金)
第1回川崎市地域自立支援協議会全体会議

平成29年度の目標

【長期目標】(平成28年度～平成29年度)

『ともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎区～』

- ・地域に根ざした関係機関との関係づくりから、いつまでも安心して健やかに暮らせるまちを考えていく

【短期目標】

『ネットワークを活用した地域課題への実践、取り組み』

- ・地域自立支援協議会のネットワークを深める
- ・地域で活動する関係機関へ障害者施策(障害者差別解消法といった日常生活に関連するような法律など)を紹介し、支援者のスキルアップを図る

平成29年度の体制

平成28年度

- ・ 定例会(偶数月開催)
- ・ 専門委員会〔児童・相談支援・地域つながり〕(奇数月開催)
- ・ 企画運営会議(月1回開催)

振り返り

- ・ 昨年度末、意見交換会の形で構成員の振り返りを実施
- ・ 「隔月開催のため、前回との間が開くことで前回の振り返りに時間を費やす。」「他の委員会活動を知ることができなかった。」「これまでに出ている課題に取り組めておらず、積み残したままになっている。」といった意見が挙がる

平成29年度

- ・ 定例会(偶数月開催・開催月は専門委員会との2部制とする)
- ・ 専門委員会〔児童・相談支援・地域つながり〕(毎月開催)
- ・ 企画運営会議(月1回開催)

定例会

【活動内容】

・ 構成員間のネットワーク作りの活動

- ① 課題抽出を主目的としないフリートーク
(構成員同士の交流を活発にする)
- ② 各専門委員会の活動報告
- ③ 研修会の開催
- ④ 年度のまとめ

等

専門委員会①

【長期目標】
『教育機関等との情報共有』

【児童委員会】

【短期目標】
『各機関のニーズを把握し、課題を抽出する』

1. 活動目的

『教育と福祉の連携』

2. 活動内容

- ①昨年度発行「川崎市障害児支援機関一覧表」のフィードバック
- ②課題管理一覧表から見えてきた地域の課題への取り組み
 - ・学校との関わりを持つ機会の設定
 - ・制度の現状把握、制度の理解の促進

専門委員会②

【長期目標】
『つながり上手になる』

【相談支援委員会】

【短期目標】
『多分野とつながる』

1. 活動目的

『誰に相談しても、つながりある相談支援ができる体制を確立する』

2. 活動内容

- ①課題管理一覧表から見えてきた地域の課題への取り組み
 - ・支援者間でチームケアができる関係作り
 - ・関係機関のネットワークの構築
 - ・特別支援学校在校生を対象とした計画相談説明会についての検討

専門委員会③

【長期目標】

『市民の声を聞き・つながり、支え合える地域づくりを目指す』

【地域つながり委員会】

【短期目標】

『地域の仕組みを知る』

- ①地区社協を知る
- ②地区社協の1か所とつながる
- ③地域自立支援協議会とは何かをきちんと伝えることができる

1. 活動目的

『地域のボランティア団体、商店街とつながり、住みやすい地域作り』

2. 活動内容

- ①川崎市社会福祉協議会主催「福祉まつり」への参加
- ②課題管理一覧表から見えてきた地域の課題への取り組み
 - ・地域の見守り支援体制についての検討
 - ・相談機関の周知や問題の掘り起こし

企画運営会議・ワーキング

開催頻度…月1回 企画運営会議とワーキングの2部制で開催

※今年度より、以下のワーキングを設置予定

- ①課題整理(昨年度より継続) ②(仮)地域包括 ③(仮)指定特定

(1)企画運営会議

- ・全体で確認する内容(例:予算、各専門委員会の前月活動報告や進捗確認など)
- ・各専門委員会活動の次月の確認

(2)ワーキング

- ・全体で確認する内容(例:各ワーキングの前月報告や進捗確認など)
- ・各ワーキングに分かれての作業等

平成29年度 幸区地域自立支援協議会

平成29年5月26日(金)
第1回川崎市地域自立支援協議会全体会議

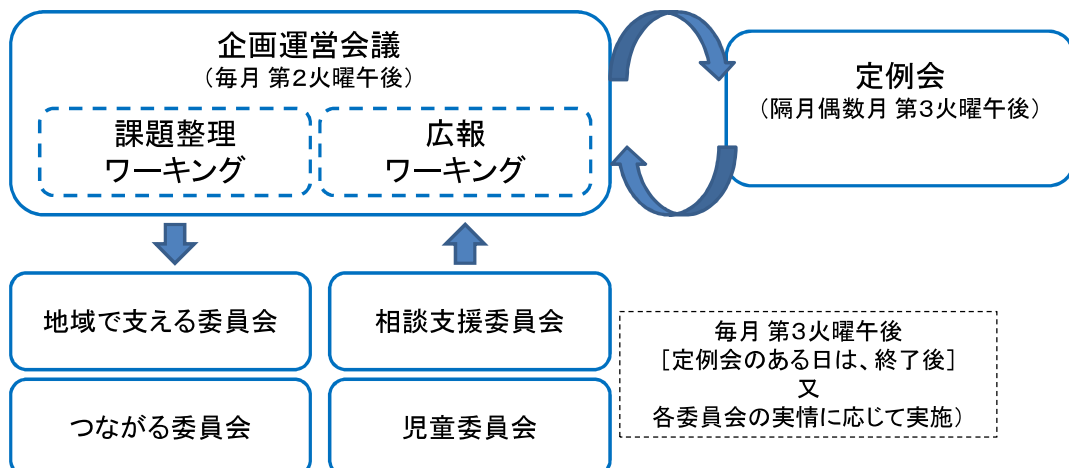
平成29年度 幸区地域自立支援協議会体制①

長期目標(期間:平成28年度～29年度)

- 顔の見える関係で地域が連携し、暮らしやすさにつなげる

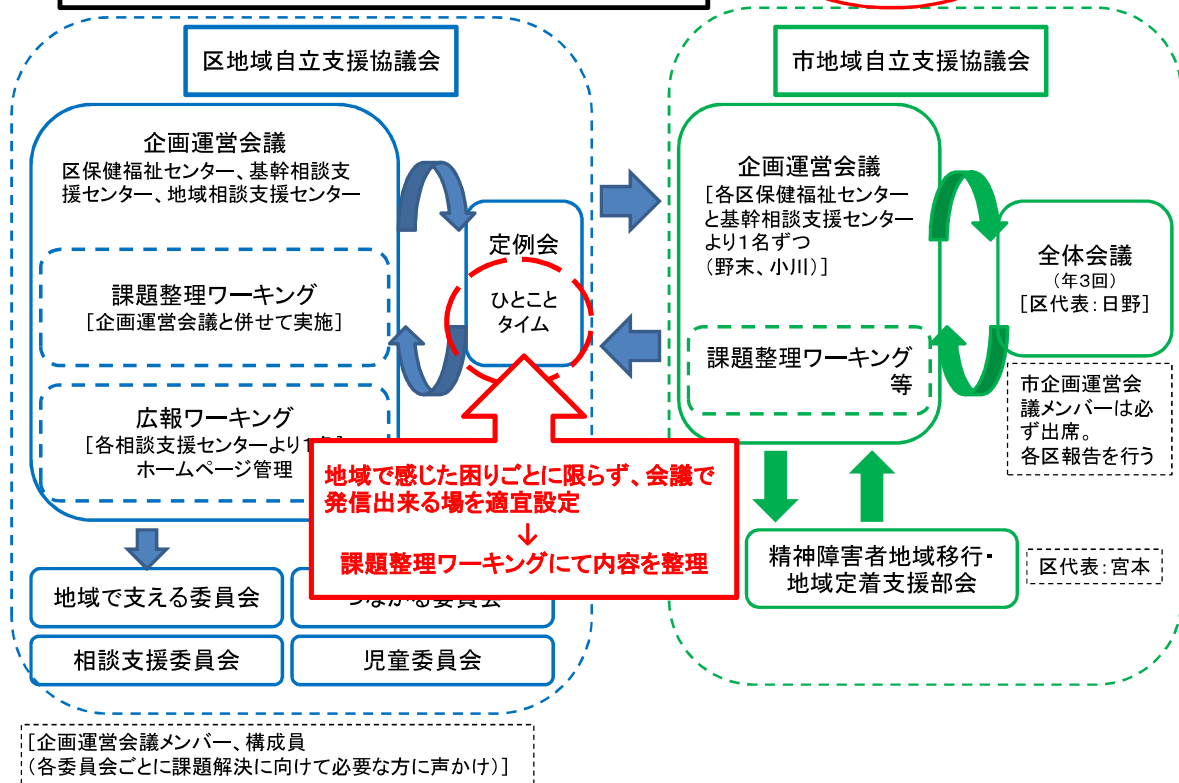
年度目標(期間:平成29年度)

- 構成員全員が協働しながら、これまでに築いたつながりを深める



平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②

構成員役割



地域で支える委員会

【地域課題】

高齢、障害その他、地域の複雑な課題を抱える事例、埋もれている事例について、関わった支援者が個々で動いてみたけれど、抱え込んでしまう

↓
『地域で支え合う仕組み』 << 支援者支援の視点 >>

活動目的

- 高齢・障害他複雑な問題を抱えていたり、地域で埋もれているケースについて、支援者が個々に抱え込まず必要な関係機関とつながっていくための仕組みを考える。

長期目標

- 個々に抱えている支援者の課題解決につながるような仕組みを作る。

短期目標

- 地域を支える支援者同士が連携できる場を作る。

昨年度取り組み

- 委員会構成員より事例報告(9事例)。多機関との連携等で円滑に進んだこと、難しかったこと等、意見交換を通して原因や理由を共有し、情報を蓄積した。
- 検討してきた事例を分析し、様々な機関が介入するタイミングや支援方法が共有でき、他の機関がなぜ動くことができたのか、動けなかったのかなどの疑問が解消できて、連携しやすくするための仕組みを考える土台ができた(地域で支える仕組みを考えた1年間)。

今年度予定

- 今までの取り組み、目的等についての報告会(8月)
(協議会構成員、地域ケアマネ、地域包括向け)
- 10月～1月にかけて「連携の場(仮)」試行
 - ・ 事前に概要を確認し、必要な専門機関に出席を依頼。
 - ・ 一人で抱え込んでいる負担感を軽減できる場になるよう、責められずに相談できる場、押し付け合いにならないような内容にする。
 - ・ 個別ケースを深める場ではなく、ケースの見立てを行い、共有、対応する手段を知る場。

つながる委員会

【地域課題①】

支援が必要だが、まだ支援が届かない・知らない人が地域に多くいる。



『地域の小さな情報が入りやすい雰囲気、ネットワーク作り』 (民生委員児童委員、地区社協への働きかけ)

【地域課題②】

フォーマル、インフォーマルな社会資源情報が一体的に把握されてなく、支援が円滑に行えない場合がある。



『社会資源情報の共有・活用』

【地域課題③】

・本人(の状態)に合った福祉施設を利用できているのかの検証が難しい。福祉施設の特徴(情報)が整理しきれていない。



『社会資源の横のつながり』(サビ管同士連携)

活動目的

- ・地域ネットワーク構築のための企画を行う

長期目標

- ・地域ネットワークの土台を作る

短期目標

- ・地域がお互いの活動を知る。協議会を知ってもらう。

昨年度取り組み

地域情報を知り、協議会の活動(主旨)を知ってもらうことで、地域ネットワークにより円滑に支えていく土台作りを行った。

- ・幸区社会福祉協議会事業報告の実施
8月定例会にて実施。社協担当者とのつながり。
- ・民生委員への協議会周知
地域包括支援センターと情報交換。民生委員と顔の見える関係になるには時間が必要。
- ・幸区サービス管理責任者(生活介護)との交流会実施
12月 セルプきたかせにて実施。お互いの活動紹介、事例検討。

今年度予定

- ①幸区社会福祉協議会に継続的な協力を依頼(6月定例会)
- ②社会資源実態調査
 - ・ヘルパー事業所の実態調査
事業所への聞き取り調査の実施やサービス提供責任者交流会の開催検討。
 - ・幸区にGHが少ない現状の調査(法人への聞き取り調査)
 - ・各支援者や事業所がそれぞれ把握している、地域生活上必要な社会資源(インフォーマル含む)情報を目に見える形にまとめる。
- ③サビ管勉強会の実施
年度初めに委員会主催で開催。年度後半に自主的開催できるような働きかけ。

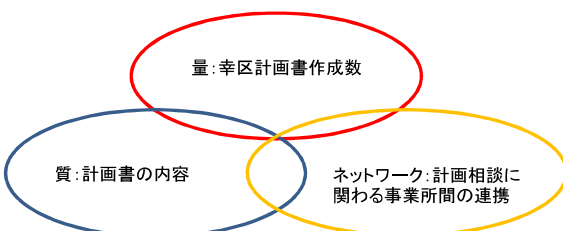
相談支援委員会

【地域課題】

計画相談を立てる事業所の数が少ない為、計画相談を受けられない人がいる



『計画相談についての課題検討の場』



活動目的

- ・計画相談がスムーズに行われる仕組みを作る

長期目標

- ・3つのカテゴリーの充実から、幸区の計画相談支援の充実を図る

短期目標

- ・課題への取り組みを通して、計画作成事業所等との関わりを深め、計画相談支援の向上を図る

昨年度取り組み

- ①指定特定相談支援事業所3ヶ所訪問し、計画相談の課題等の聞き取り。
- ②委託相談支援センターで、計画相談の課題聞き取り。
- ③「幸区相談支援事業所意見交換会」開催。委託相談4ヶ所、指定特定相談支援事業所6ヶ所、障害者支援係が集まり、幸区内の計画作成の実情を情報共有。疑問や意見等を、グループワーク形式で話し合い。普段から、計画作成時等に相談しあえるような、顔の見える関係作りを目指していく事を確認。
- ④2月「障害児相談支援を知ろう」をテーマに、南部地域療育センターの児童相談支援の取り組みについて勉強会開催。

今年度予定

- 「指定特定相談支援事業所との連絡会」開催(隔月)
- ・質、量をメインのテーマで実施。
 - ・各回で出た意見をもとに、次回のテーマを決める場合も想定。
 - ・自由討論や幸区の福祉情報の提供の時間も設ける

児童委員会

【地域課題】

学齢期に支援が必要と思われるエピソードはあるが、社会に出てからつまづく等、生活の立て直しが困難。



『学齢期における教育と福祉の連携』

活動目的

- 学齢期における教育と福祉の関わりを広げる

長期目標

- 幸区内特別支援教育コーディネーターとの連携

短期目標

- 幸区内中学校特別支援教育コーディネーターとの関係づくり

昨年度取り組み

- 療育手帳保有数実態把握
区内療育手帳保有人数、高卒までの手帳取得人数を年代別データ確認。
- 御幸中学校通級指導教室見学、先生との意見交換



今年度予定

幸区内中学校(4校)見学・特別支援教育コーディネーターとの意見交換会を実施し、幸区内中学校との連携のあり方についての検討

【地域課題】

父親が子育てに関わる機会が少なく、父子関係に影響したり、父親の力が発揮できない



『父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める』

(父親と障害のある子供たちのふれあい)

活動目的

- 父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める

長期目標

- 父親同士が語り合える場を設定し、つながりを作る

短期目標

- 父親同士が語り合える場を設定し、横の連携、つながりを持てるようにする

昨年度取り組み

- 施設見学会2回(土曜)[障害者福祉施設、就労移行支援]
- お父さんと障がいのある子どもたちのふれあいサッカーイベント(土曜)[川崎フロンターレ協力]
父親同士で懇談。家庭での役割、子どもと接する上で工夫している事など、情報共有。連絡先交換。



今年度予定

父子での交流イベント(ふれあいサッカー含む)を数回実施。父親同士が語り合う場も設定。

平成29年度

中原区地域自立支援協議会

平成29年5月26日(金)
第1回川崎市地域自立支援協議会全体会議資料

長期目標(平成28～29年度)

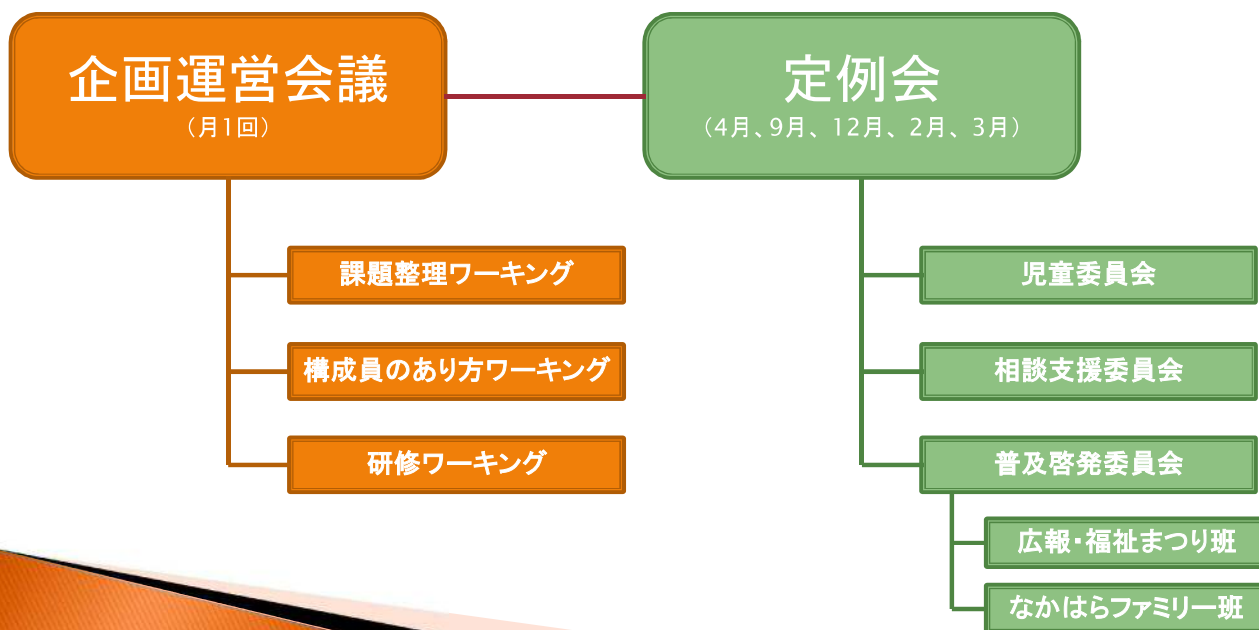
- ▶ 中原区地域自立支援協議会の体制作り

平成29年度の短期目標

- ▶ 中原区の資源・課題を知り、地域と広く連携を図っていく



平成29年度の体制



児童委員会



つながる、広がる、支えあう

中原区内の配慮の必要な子どもたちの放課後を知る

中原区健康・福祉まつりでのパネル展示。児童が利用可能な制度や関係機関等の広報・周知活動を実施

支援の必要な子どもたちのための地域の資源を集め課題を見つける
子ども未来フェスタに参加し、普及啓発を行う
中原区の児童のための情報をまとめた冊子を作成する

相談支援委員会

長期目標

中原区内の相談支援体制の標準化をめざす

昨年度の
短期目標

事例を通して相談支援従事者の関わり方
(姿勢)を検証する

昨年度の
取組み、成果

「それぞれの立場から相談支援とは何かを考える」ことを
目的に、事例検討を実施

今年度の
短期目標

みまもり支援センターと継続的につながるため
のアプローチについて検討する

普及啓発委員会

長期目標

中原区内の地域の方と支援機関の顔の見える
関係を作る

昨年度の
短期目標

中原区内の事業所のつながりを深める

昨年度の
取組み、成果

事業所案内冊子作成／事業所見学
他事業所への理解が深まり、横のつながりができた

今年度の
短期目標

広報、活動を通じて地域の方に協議会を知ってもらう

ワーキング活動

- ▶ 課題整理ワーキング
- ▶ 構成員のあり方ワーキング
- ▶ 研修ワーキング



中原区地域自立支援協議会
イメージキャラクター「なかはらっく」

高津区地域自立支援協議会



長期目標（平成28～29年度）

- 「知る 知らせる 理解する
 ……互いを知る 課題を知る 地域の力を知
 る……」
 から一歩踏み出そう！

～高津区の現状（課題と地域力）を共有し、
 一緒に取り組めるつながりをつくる～








短期目標（平成29年度）

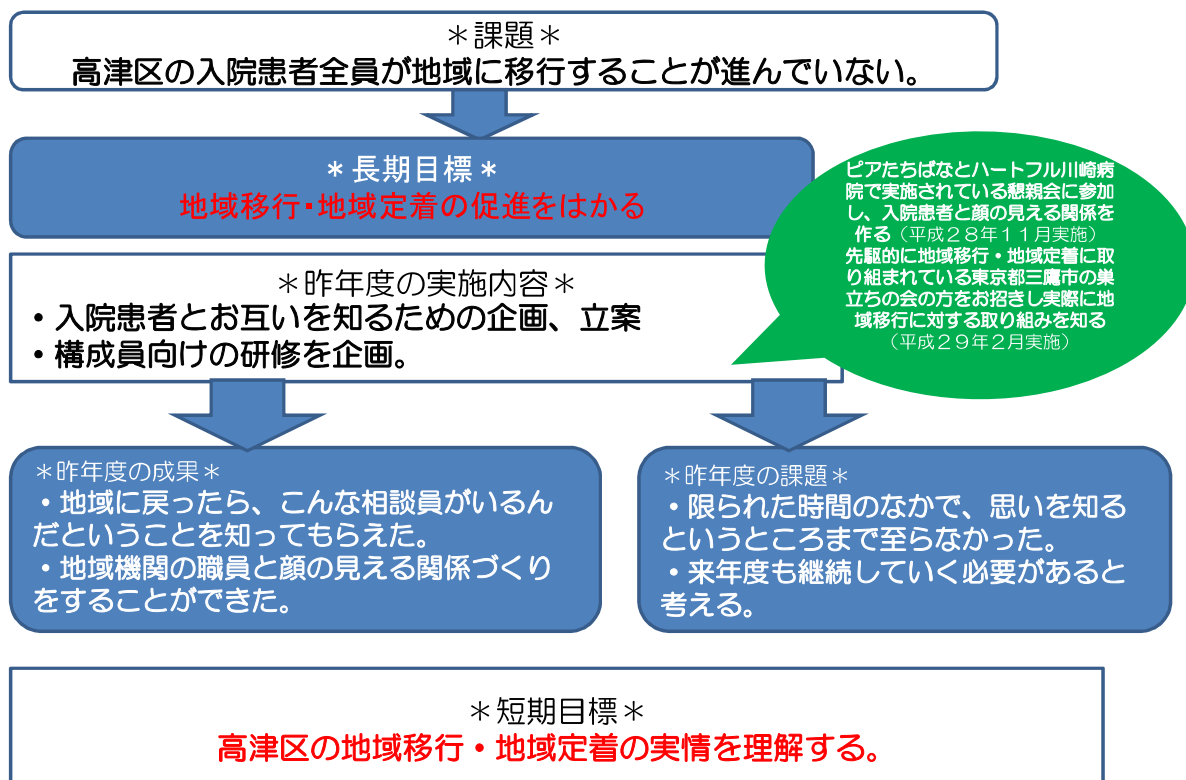
知る→一歩踏み出そう



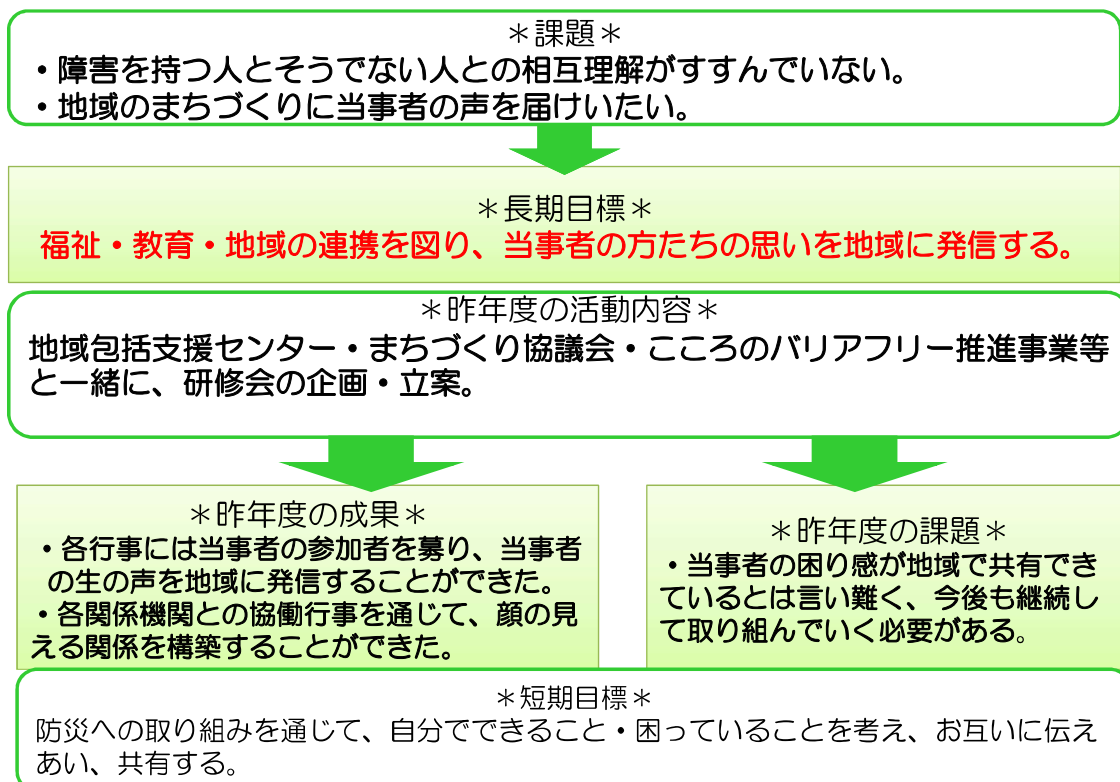
各委員会の目標・取り組み内容

	<p>相談支援委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域移行の課題共有 • 病院との協力関係を継続
	<p>交流企画委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 関係機関との連携強化 • 研修開催
	<p>みんなの居場所づくり委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> • イベント参加の継続・定着 • すまいる(当事者定例会)の開催・定着
	<p>児童委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童発達支援事業所との交流会の継続
	

相談支援委員会



交流企画委員会



みんなの居場所づくり委員会

課題

当事者がやりたいことをできない、地域に出る機会が少ない、自分の力を生かせる場がない。

長期目標

活動の中で、少しずつ当事者が主体的にできることを増やしていく。

委員会発足当初は、誰もが集まれる場を作ることが目標であったが、当事者が参加し、話し合いながら進めてきたことで、**集まれる場**ではなく、誰もが**地域に出ている**、**地域全体を居場所とする**方向に軌道修正ができた。

昨年度実施した内容

- 当事者の地域イベントへ参加
- すまいる（当事者定例会）の開催（8月・10月・12月・2月実施）

昨年度の成果

• 当事者定例会において、参加者の希望を実行し、参加者同士の輪がひろがりつつある。

昨年度の課題

- 取り組んできたこと（やってみたこと）をどう定着させていくか。
- **【地域】**に当事者の顔を知ってもらう方法をさらに検討していく

短期目標

- ①活動の中で少しずつ当事者が主体的にできることを増やしていく。
- ②すまいる（当事者定例会）を定着させ、当事者からの発信を促す。

児童委員会

課題

放課後等デイサービス事業所の増加に伴い、利用者が複数の事業所を利用することで、連携した療育的アプローチが行いにくい。
放課後等デイサービス事業所が増え、実態が把握できない。

長期目標

より良い療育の為にネットワークづくりを目指す

昨年度の活動

- 他区や児童対象施設の状況確認
- 交流会の内容の検討、実施

昨年度の課題

交流会については、いずれは事業所側の自主運営を目指したいが、現状ではその段階には至っていないため、次年度も児童委員会が間に入って交流会について検討・実施が必要である。
次年度も事業所側が継続して参加したいと思えるようなテーマ設定や時期などが今後の課題である。

短期目標

交流会でのネットワークを活用しながら、児童期の課題を把握し、解決のための手立てについて協議する。

平成29年度

宮前区地域自立支援協議会について



平成29年5月26日(金)
第1回 川崎市地域自立支援協議会全体会議

平成29年度 目標設定に向けて...

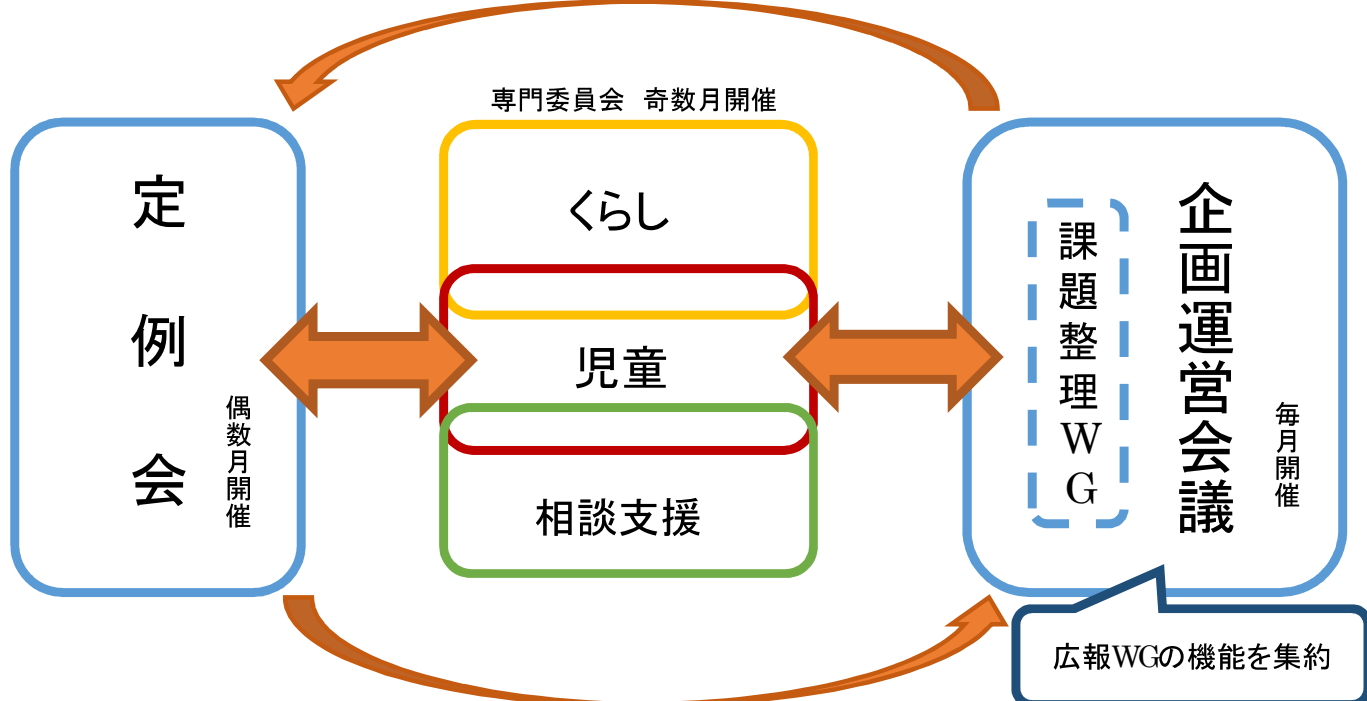
平成28年度の
振り返りアンケート

2月定例会 グループワーク



企画運営会議で検討 ⇒ 実施計画を作成

平成29年度 体制について



平成29年度 長期・短期目標について

平成28・29年度 長期目標 地域でつながり、みんなの暮らしやすさを広げる

意見 ・できたこと、来年度に向けてのこと等、前向きな意見が多い。
 ・協議会の中ではつながれたが、地域とつながれた実感がもてなかった。

➡ 平成28～29年度の2年間で設定した目標のため、継続

平成28年度 短期目標 私たちの地域の今の地域資源や課題を知る

意見 ・「概ね達成できた」という意見が多い。
 ・「未達成で継続」という意見もあがっている。

➡ 目標の達成については、委員会毎に差異がある。

社会資源や課題を知る + 暮らしやすさを広げる

➡ 地域の資源情報や現状をわかりやすい形にして発信する

平成29年度 児童委員会について

平成28年の活動内容

「ふれあいJNO4」の発行

小学生のお子さんを持つ保護者に向けた情報

居場所をみつけよう！～(放課後デイ、サークル等の情報提供)

10月24日(月) 地域支援講座開催

「学齢期のサポート ～子どもたちの育ちを一緒に考えましょう～」

講座終了後 個別相談対応の時間



意見

- ・目標を意識しての活動になれなかった。
 - ・過去の活動を振り返り、目的や対象を明確にした上で具体的な活動につなげていってもよいのではないか。
- 等々



長期目標

今まで情報が届かない人に情報を届ける【継続】

短期目標

発達に心配のある児童の保護者等へ必要な情報を届けるために現状を把握し整理する

平成29年度 暮らし委員会について

平成28年の活動内容

「防災」と「移動」の2つのグループに分かれて活動。



アンケート調査



結果を整理・分析

防災

薬局へのインタビュー調査

移動

分析結果を次年度につなげる



意見

- ・インタビュー調査の内容をどう情報発信につなげていくのか。
 - ・アンケート調査の分析結果からわかった事柄について、情報の収集方法や対象等どのようにしていくのか。
- 等々



長期目標

地域の人々やサービスにつながっていない人にも、役に立つ情報を発信する【継続】

短期目標

「防災(薬)」と「移動」に関する情報を整理して地域で共有する

平成29年度 相談支援委員会について

平成28年の活動内容

(委託の相談支援と区役所CWが日頃の相談支援活動から問題と思うことを出し合っていく！)
テーマを決めて、問題出しからスタート。問題を整理し分析する。

テーマ
計画相談・一次相談
地域移行・医療・住まい



問題出し



整理・分析



意見
・相談支援における問題や課題が委員会メンバーで共有することができた。
・委員会メンバーの構成について検討が必要。

等々

長期目標

協議会で取り組む相談支援の課題について整理する【継続】

短期目標

整理した相談支援の課題について解決する手段を検討する

平成29年度 定例会について

平成28年度

- ・「聞かせてみんなの暮らし」
- ・各専門委員会からの発信(6月「課題」と「問題」について)
- ・研修、報告会
- ・地域包括支援センターとの交流会等
- ・その他 ⇒ 施設見学(まじわーる宮前、川崎市井田障害者センター)



意見
・他の委員会の活動がわからないという意見が多数。
・定例会自体の内容が多すぎる。
・全体に発言する機会が欲しい。

定例会で、委員会の活動報告の時間や協議する時間を確保していく。

平成29年度

- ・各専門委員会の活動報告
- ・研修、報告会、問題についての協議
- ・その他(例. 当事者参加型企画、関係機関との交流企画等)

多摩区地域自立支援協議会

平成29年5月26日(金)
川崎市地域自立支援協議会 第1回全体会議

29年度目標

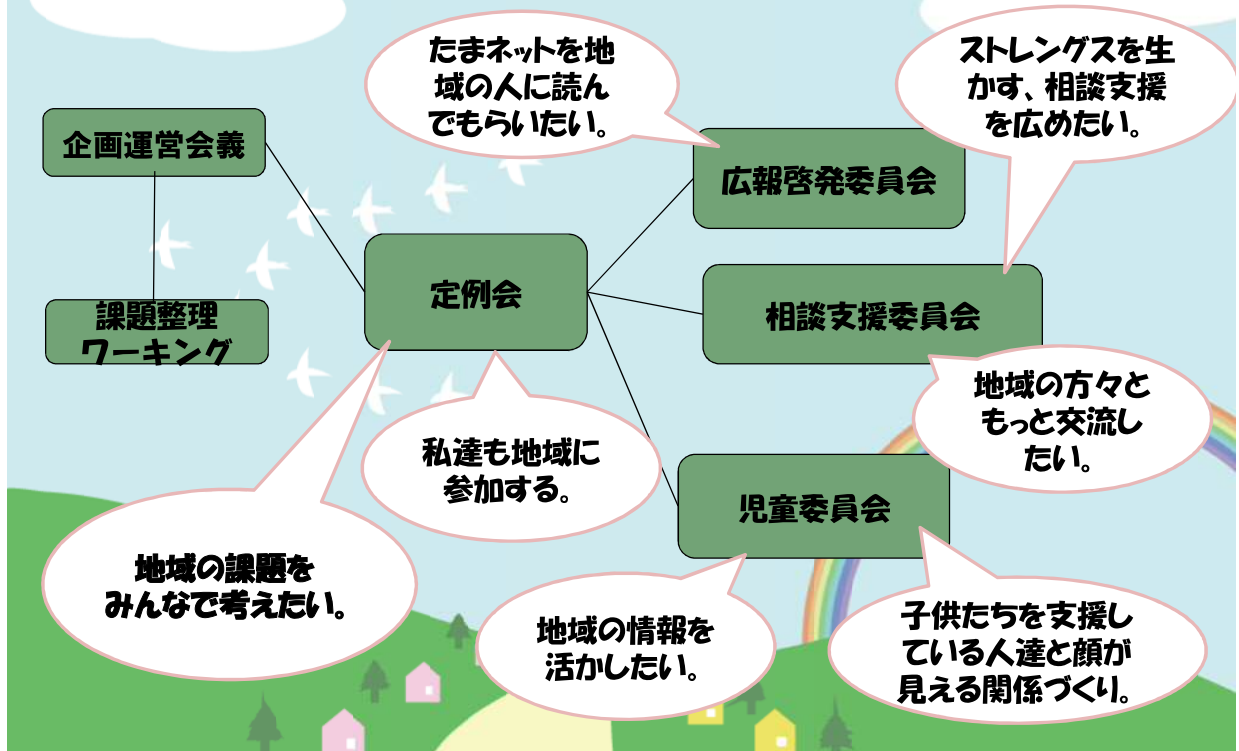
長期目標：さらに一步！
地域とのつながりを深めよう！

短期目標：知り合った人たちと
次の一步を進めよう！

GO!



知り合った人たちと次の一歩へ？



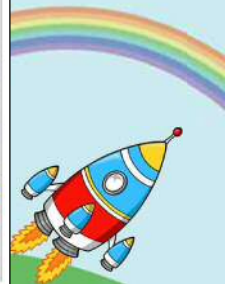
平成29年度の活動体制

企画運営会議、各委員会は 月1回 開催。
定例会は 原則隔月 開催。



【広報啓発委員会】

自立支援協議会の活動と、地域のことがわかる広報誌を発行。区役所内等で配布、年1回町内会回覧板を通じ情報を届けます。



多摩区内のイベント等の発信→

【児童委員会】

多摩区内の児童関係機関がお互いに顔の見える、横のつながりが持てるように活動します。

- ・ こども達を支援している事業所の集い
- ・ 地域の支援学級を通じ学校と連携をする方法を考える。



【相談支援委員会】

- ・多摩区内の方に相談支援が行き渡るには、どのような方法があるか考えます。
- ・指定特定相談支援事業所との意見交換の場を持ちます。

定例会 グループ討議テーマ

課題管理一覧表から抽出された優先課題について話し合いの場を設け、次年度の委員会立ち上げの材料とする予定。

- 👉 7月 ヘルパーがなかなか見つからない(行動援護、移動支援等)
- 👉 9月 グループホームと支援センターとの連携
- 👉 11月 医療的ケアのある方の社会資源が少ない

とびこもう地域の中へ つながろう 麻生

麻生区地域自立支援協議会

平成29年5月26日

第1回川崎市地域自立支援協議会全体会議 報告資料

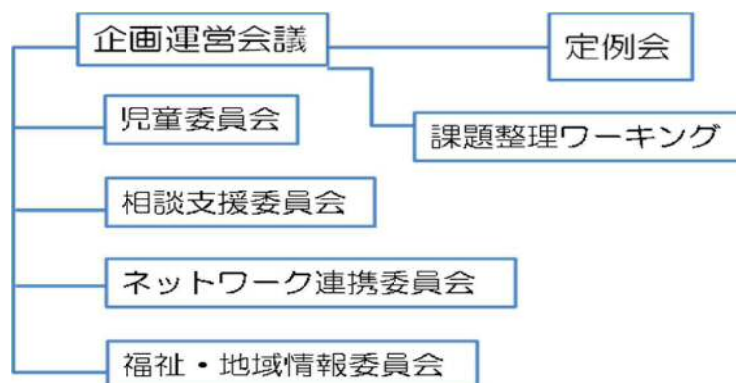


目標について

長期目標 「とびこもう地域の中へ つながろう麻生」

短期目標 「3年間の活動を総括(評価)し、地域の課題を共有することで、次年度の取組を決める」

組織図



児童委員会

1. 活動目的 「こどものえがお つながるあさお」
2. 長期目標 「児童及び児童にかかわる方々のニーズに応じた情報発信をする」
3. 短期目標 「委員会内の各活動(出張相談・リーフレット・ピアサポーター・共生活動)について精査し来年度以降の委員会の方向性を検討する」
4. 今年度の活動計画

4月	4月7日(金) ピアサポーターの集い
5月	5月18日(木) 児童委員会 5月26日(金) 麻生区内小学校校長会挨拶
6月	6月2日(金) 児童委員会・ピアサポーターの集い(研修会) 6月 日() 麻生・多摩区合同中学校校長会挨拶
7月	7月20日(木) 児童委員会
8月	8月4日(金) 児童委員会・ピアサポーターの集い
9月	9月21日(木) 児童委員会
10月	10月6日(金) 児童委員会・ピアサポーターの集い
11月	11月16日(木) 児童委員会
12月	12月1日(金) 児童委員会・ピアサポーターの集い
1月	1月18日(木) 児童委員会
2月	2月2日(金) 児童委員会・ピアサポーターの集い
3月	3月上旬 ランチ会 3月15日(木) 児童委員会

福祉・地域情報委員会

1. 活動目的 「障害のある方や身近な人に、情報を届ける」
2. 長期目標 「つながろうカードをきっかけに地域への障害理解を深める」
3. 短期目標 「地域のイベントでつながろうカードを配布し、必要としている方に相談先情報を伝える」
4. 今年度の活動計画

4月	年間活動計画の確認、予算、担当決め つながろうカードの改訂、見積もり依頼
5月	つながろうカード印刷
6月	配布活動、モニタリング
7月	配布活動、モニタリング
8月	配布活動、モニタリング
9月	今年度、3か年計画のまとめ
10月	福祉まつりでの配布活動
11月	今年度、3か年計画のまとめ
12月	今年度、3か年計画のまとめ
1月	次年度の計画
2月	次年度の計画
3月	次年度の計画

ネットワーク連携委員会

1.活動目的

「障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるため麻生区の福祉団体以外(企業や高校、大学等の教育機関)と連携できるようにつながりの方法や手段を考えていく」

2.長期目標

「地域に活動内容を発信しコラボレーションできる関係を目指す」

3.短期目標

「企業訪問インタビューと地域福祉交流講座の活動を継続し協議会の認知度を高め地域とつながる」

4.今年度の活動計画

4月	・19日定例会にて委員会メンバー顔合わせ、活動打ち合わせ(担当割り振り) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ①)
5月	・定例会にて活動打ち合わせ ・企業訪問インタビュー実施(タクシー会社) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ②)
6月	・定例会にて活動打ち合わせ ・企業訪問インタビュー実施(不動産関係) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ③)
7月	・定例会にて活動打ち合わせ ・企業訪問インタビュー実施(未定) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ④)
8月	・定例会にて活動打ち合わせ ・地域福祉交流講座(内容未定) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑤)
9月	・定例会にて活動打ち合わせ ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑥)
10月	・定例会にて活動打ち合わせ(委員会のまとめ) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑦)
11月	・定例会にて活動打ち合わせ(委員会のまとめ) ・あさお福祉祭りにて情報発信、イベント企画 ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑧)
12月	・定例会にて活動打ち合わせ(活動報告会準備) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑨)
1月	・定例会にて活動打ち合わせ(活動報告会準備) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑩)
2月	・定例会にて活動打ち合わせ(平成30年度からの3ヵ年計画検討) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑪)
3月	・定例会にて活動打ち合わせ(平成30年度からの3ヵ年計画検討) ・連絡会だより(記事掲載12回シリーズ⑫)

相談支援委員会

1. 活動目的 「麻生区内におけるより良い相談支援体制を作り出す」

2. 長期目標 「相談支援事業所の存在や取り組みを周知すること」

3. 短期目標 「相談支援に関する課題の抽出を行い、その課題に合わせた取り組みを行う」

4. 今年度の活動計画

4月	4月6日(木)第1回 相談支援委員会 集計途中経過の分析 4月28日(金)アンケート返送〆切
5月	5月8日(月)アンケート集計〆切 5月16日(火)第2回 相談支援委員会 集計結果を受けて課題抽出。具体的活動内容を決定し、スケジュールの再調整を行う。
6月	6月12日(月)第3回 相談支援委員会 活動実施
7月	7月10日(月)第4回 相談支援委員会 活動実施
8月	8月14日(月)第5回 相談支援委員会 活動実施
9月	9月11日(月)第6回 相談支援委員会 活動実施
10月	10月16日(月)第7回 相談支援委員会 活動実施
11月	11月13日(月)第8回 相談支援委員会 活動実施
12月	12月11日(月)第9回 相談支援委員会 今年度の振り返りとまとめを行う。
1月	1月15日(月)第10回 相談支援委員会 今年度の振り返りとまとめを行う。
2月	2月19日(月)第11回 相談支援委員会 次年度の目標と取組について検討。
3月	3月12日(月)第12回 相談支援委員会 次年度の目標と取組について検討。



ご清聴ありがとうございました...